学校番号	3015

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校　新倫理　新訂版』（実教出版）						
副教材等	授業者が作成した教材（プリントなど）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な物事について、自分の頭を最大限に使って考えてください。世間の常識や一般論を打ち破る意見を出してください。それができれば、とても楽しい科目になります。

センター試験を受験する生徒は、夏期以降の講習に参加することを推奨します。ここ数年難化傾向にあり、用語の丸暗記だけで高得点は望めません。内容の深い理解が不可欠ですので、少しでも分かりにくいところがあればすぐに担当者に質問すること。

２　学習の到達目標

１①身の周りの様々な物事や、正義や愛といった問題について考え、自分の意見を持つ。
②自分の意見を他人に伝え、他人の意見を聞き、話し合うことを通して考えを深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	正義や愛など、答えのない問いと真摯に向き合い、自分の考えを持つことができる。	自分の意見を会話や文章の中で表現することによって、他者と考えを共有し、深めることができる。	写真や絵画、音楽などの資料を通して様々なテーマについて考え、他者と話し合うことができる。	哲学の歴史や哲学者についての知識を正しく理解することができる。
評価方法	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	青年期、人間としての自覚	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 ・芸術と人生 ・青年期の意義 ・青年期の課題	○	○ ○		○	b:古代ギリシアの哲学における正義や愛についての考えを理解し、それに対しての自分の意見を表現することが出来る。 d:キリスト教、イスラーム、仏教の歴史や、各宗教の特徴について理解することが出来る。 b:古代中国の思想を理解し、それを通して人間の在り方生き方について考え、自分の意見を表現することが出来る。 a:青年期の意義や課題を自分の現状と関連づけ、自らの生き方について考える。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査
2	現代に生きる人間の倫理、現代の諸課題と倫理	・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福 ・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の倫理 ・地域社会の倫理 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類の福祉の課題	○	○	○		a:中世までの思想と近代以降の思想の違いを理解し、個人と社会の間で起きる様々な問題について考え、自分の意見を表現することが出来る。 b:功利主義、社会主義などの思想を正しく理解し、現代社会との関係について考えることができる。 c:現代社会の諸問題について正しい知識を身につけ、問題の解決方法について考え、話し合うことができる。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査
3		問題演習、社会課題を哲学を用いて考察しよう。	○			○	d:問題演習などを通して、センター試験で高得点を目指せる実践力を身につける。 a:センター試験以降は、様々なテーマについてグループワークやレポート提出などを行う。	・授業態度 ・提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。